



齋藤俊男さん(左)と河野太郎外務大臣(右)

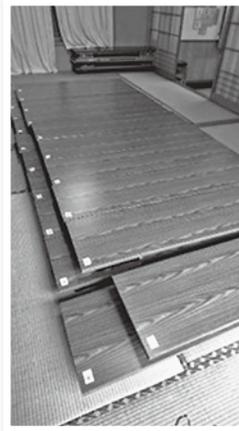
齋藤俊男さん「外務大臣表彰」受彰

町内在住の齋藤俊男さんが、外務大臣表彰受彰されました。この表彰は、日本と諸外国との友好親善関係の増進について特に顕著な功績のあった個人・団体に贈られるものです。

齋藤さんは、ねぎ栽培等の農業を行う一方、日系ブラジル人の教育に力を入れており、学園・保育園の設立のほか、平成30年には日系ブラジル人の子どもの大学進学のために返済不要の奨学金を出す一般財団法人を設立しました。この度の表彰では、日本とブラジルとの相互理解の促進への尽力が功績顕著とされ、受彰となりました。

五明自治会が宝くじの助成金コミュニティ備品を整備

一般財団法人自治総合センターでは、宝くじの社会貢献広報事業として宝くじの受託事業収入を財源としてコミュニティ助成事業を実施しています。このたび、五明自治会では、宝くじの助成金を受けて、机やテント等のコミュニティ備品を購入しました。今後の地域のコミュニティの活性化、明るい地域づくりに役立ててください。



スポーツ大会の結果

県北交流大会(埼玉県バレーボール協会会長杯北部地区1次予選会)

2月4日(日)他
[本庄シルクドーム他]
優勝 上里中学校
女子バレーボール部



北部地区お別れ交流大会(バレーボール)

2月18日(日)[上里東小学校体育館]
◆Aブロック
優勝 上里東JVC



会長杯争奪小学生バレーボール新人大会埼玉県決勝大会

3月3日(土)他[熊谷文化スポーツ公園体育館]
ベスト16進出
上里東JVC



埼玉県スポーツ少年団バドミントン大会(ダブルス大会)

2月24日(土)[蓮田市総合市民体育館]
◆Eブロック
優勝 黒羽・飯塚ペア
◆Iブロック
優勝 田嶋・黒川ペア



上里FC卒団交流サッカー大会

3月17日(土)[上里町堤調節池運動公園]
優勝 上里FC Bチーム 2位 上里FC Aチーム



優勝 上里FC Bチーム

2位 上里FC Aチーム

第35回 明るい町づくりの意見発表会

テーマ「住みよい町のために 私と地域でできること」

8月2日(木)、第35回明るい町づくりの意見発表会が開催されました。町内5つの小学校の5・6年生17名がテーマについて自ら考え発表を行いました。いつもの学校とは違う雰囲気の中、緊張しながらも堂々とした発表ができました。



発表者および発表要旨一覧表

No.	学校名・学年	氏名	発表要旨
1	七本木小5年	清野 翔太	ほくはこの上里町が大好きだ。もつと住みよい町にしていくために、地域の方たちが、子供からお年寄りまで触れ合える施設などがあると良いと考えた。しかし、地域に目を向けてみると、ゴミが落ちていたりすることがある。そこで、地域で協力してゴミ拾いをする日を設けることで、交流しながら住みよい町づくりを行うことができると考えた。
2	七本木小5年	なかほら 穂乃花	私の住む上里町は、子ども達にとってやさしい町である。昨年の秋には、大きな公園「あおぞらパーク」などの安全で楽しく遊べる場所が作られた。お年寄りや体の不自由な人にもやさしい町になるよう、巡回バスを無料にし気軽に利用できるものになればと思う。子ども達も地域の方とふれあえる機会が増えるのではないかと考える。
3	七本木小6年	おおくぼ 詩穂	上里町は、お年寄りや障害のある方でも暮らしやすいように役場やショッピングセンターの設備が整えられているところがすばらしいと思う。しかし、小学生や中学生がお年寄りや障害のある方ともつと触れ合う機会をもてばもつとよい町になると思うので、学校での特別授業やふれあいイベントがあるとよいと思う。
4	七本木小6年	よしだ 実希	上里町の良い所は、自然が豊かな所と、大型のショッピングセンターが複数あり、買い物に便利であることが挙げられる。しかし、改善した方がいい点が2つある。道路にごみが落ちていること、交通事故が多い事だ。この2点を改善するために私たちにできることとして、自分から進んで拾うこと、交通ルールや自転車の正しい乗り方を守ることを考えた。
5	上里東小6年	すぎやま ひまり	ゴミをなくし、上里町をよりきれいにするための対策「ごみで満腹!こむぎっち大作戦」と「ゴミ0(ゼロ)交流会」の2つを提案したい。
6	上里東小6年	あんどう 結愛	上里町で自慢できることは、自然が多く、優しい人が多いところである。上里町をよりよくするために「こむぎっちタクシー」を提案したい。
7	上里東小6年	あきや 将太	たくさんある上里町のよいところの中で、「地域の方々の協力」と「体験学習」について紹介していきたい。
8	神保原小6年	つかごし 麗愛	様々な人にとって住みやすい場所にするには、環境を整えること、人とのつながりを大切にすることの両面から働きかけが必要である。また、自分にもできることを考え、行動していきたい。
9	神保原小5年	ほんだ まみ	住みよい町づくりのために「私たちができる小さなこと」をテーマに発表していく。
10	神保原小5年	まつもと もえ	住みよい町づくりのために「ゴミのない町づくり」をテーマに発表していく。
11	賀美小6年	しみず み希	私と地域でできることは2つ。「ごみ拾い」と「あいさつ」。住みよい町になるよう、小学生でもできることを協力して行いたい。
12	賀美小6年	たむら じん	上里町の良いところは、自然豊かで、スーパーが多いところ。改善点は、「ごみ」「公園」「あいさつ」。小学生を含め上里町みんなですこずつ変えていくと住みよい町になる。
13	賀美小6年	なかじま み那	人は、何かその場所に魅力を感じたりひかれたりしてやって来る。私にできることは「提案」。私と地域でできることは「あいさつ」。活気ある住みよい町になってほしい。
14	長幡小6年	なかや 佳乃	上里町をもつと住んでいて楽しくなる町にしたい。そのために、クリーンの日に参加するなどして自分からゴミを拾ったり、自分からあいさつをしたりしていきたい。
15	長幡小6年	ほんだ まみこ	わたしが思う「住みよい町」とは、便利で楽しい町である。図書館をもつと活用しやすくし、積極的に自然に親しむことができる町にしていきたい。
16	長幡小6年	みはら 寛太	上里町が便利できれいな町になるために、もつと飲食店を増やしたり、駅前をにぎやかにしたりすることが必要である。
17	長幡小6年	やまだ 琉央	上里町をもつと住みよい町にするために、安全な町づくりを大切にしたい。そのために、もつとこむぎっち号を活用したり、安全に通行できる交差点を増やしたり、自分自身も心がけていきたい。



<町長講評(要旨)>

17名の皆さんが「住みよい町にするために自分が何ができるか」ということを真剣に考えていただき、素晴らしい意見を発表していただきました。ごみのことやあいさつのことなど、町として実践していかななくてはいけないということもたくさんありました。

これから皆さんのご意見を参考に、住みよい町、住み続けたい町になるように、交流の場を持ちたいと思っております。